

モザイク画で盛り上げ

崇城大生制作

ラグビーW杯を盛り上げようと、県内の大学生が競技などの写真を使ったモザイク画を完成させた。12月15日まで、熊本市総合体育館・青年会館（中央区）に展示している。

崇城大（熊本市）デザイン学科の学生が制作。縦1・8メートル、横2・7メートルの大きさで、インターネットなどを通じて集めた写真約2500枚を組み合わせ、ラグビーボールを持って走る選手を表現した。

県内では、11月30日から女子ハンドボール世界選手権大会も開催される。ジャ

ンプしながらシュートを放つハンドボール選手を表現した作品も作った。制作に携わった3年の^{たけ}岳

直輝さんは「写真を提供した人も作品を見た人も競技に興味を持ってもらい、大会と一緒に盛り上げてほしい」と話している。



▲
約2500枚の写真を使ったラグビーのモザイク画

モザイク画に使われた写真

